

平成 30 年 7 月 10 日

奈良市文化振興課

電話：0742-34-4942

FAX：0742-34-4728

国際文化交流プログラム「東アジア文化創造 NARA クラス」
平成 30 年度プログラム開始について

一昨年、奈良市は東アジア文化都市日本開催都市として、奈良の文化を世界へ発信するとともに、多くの文化交流プログラムを実施し、中国・寧波市や韓国・濟州特別自治道との交流を深めました。

両都市との絆を未来に繋げていくため、大学生や高校生等を対象とした国際文化交流プログラム「東アジア文化創造 NARA クラス」を昨年度より実施しており、今年度についても継続し実施します。

今年度プログラムは「アートと国際交流」がテーマです。「アート」を交流のツールに、日中韓の若者たちが自らを表現し、お互いの文化への理解を深めます。

7月15日（日）から始まり、8月26日（日）までプログラムは続きますので、ぜひご取材いただきますよう、よろしくお願いいたします。



昨年度の東アジア学びの扉の様子



昨年度の日中韓交流プログラムの様子

[開催プログラム]

■ **東アジア学びの扉（講座・ワークショップ）：（全3回）（日本人対象）**

奈良の歴史や「アート」などをテーマに、バラエティに富んだ講師陣による講座やワークショップを行います。8月下旬に中韓の学生を迎えるにあたり、奈良の魅力を人に伝えるための知識と、異なる文化を持つ人とのコミュニケーションの方法について学びます。

第1回「奈良時代、半端ないって！」

講師：高次^{たかつぎ}喜勝^{きしょう}氏（喜光寺副住職）

日時：7月15日（日）15時～17時

会場：ならまちセンター会議室3

<講師プロフィール>

法相宗別格本山 清涼山 喜光寺 副住職。1987年生まれ。大阪府出身。

龍谷大学大学院文学部修士課程修了。18歳のとき、法相宗大本山薬師寺にて入山出家。

2015年より、行基菩薩入寂の寺である喜光寺の副住職に就任。薬師寺の研究機関である唯識学寮の研究者も兼務。

「心によりそう仏教」をテーマに、わかりやすい仏教を目指して全国で法話会を開催している。

第2回「現代アートで学ぶ多様性のハーモニー」

講師：西尾^{にしお}美也^{よしなり}氏（美術家／奈良県立大学准教授）

日時：7月29日（日）10時30分～15時30分

会場：奈良県立大学 地域交流棟 中研修室

<講師プロフィール>

1982年、奈良県生まれ。東京藝術大学大学院博士後期課程修了。

現在、奈良県立大学地域創造学部准教授。近年のグループ展に、「DOMANI・明日展」（2018年に国立新美術館）、「あいちトリエンナーレ 2016」、「さいたまトリエンナーレ 2016」など。

装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目し、市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。「東アジア文化都市 2016 奈良市」の参加アーティスト。

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」プログラムディレクター。

第3回「異なるレイヤーへのダイブ！ー身体・ダンスを用いたコミュニケーションの可能性」

講師：砂連尾 理 氏（ダンサー・振付家／立教大学特任教授）

日時：8月5日（日）10時30分～15時30分

会場：奈良市生涯学習センター（スタジオ2）

〈講師プロフィール〉

91年、寺田みさことダンスユニットを結成。

02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」（グランプリ）、「オーディエンス賞」をW受賞。

04年、京都市芸術文化特別奨励者。08年度文化庁・在外研修員として、ドイツ・ベルリンに1年滞在。

近年はソロ活動を中心に障がい者や高齢者との作品制作やワークショップの他、様々なプロジェクトを通してダンスと社会を繋ぐ活動を展開している。

代表作にドイツ障がい者劇団ティクバとの「Thikwa+Junkan Project」、京都・舞鶴の高齢者との「とつとつダンス」、宮城・閉上（ゆりあげ）の避難所生活者への取材が契機となった「猿とモルターレ」等。

著書に「老人ホームで生まれた〈とつとつダンス〉ーダンスのような、介護のようなー」（晶文社）。

立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授

■ **日中韓 青少年アートセッション in 奈良：8月25日（土）26日（日）（日中韓対象）**

中国・寧波市や韓国・済州特別自治道の若者を奈良に迎えて、交流プログラムを行います。参加者による各都市紹介やアート作品の共同制作、ワークショップなどを予定しています。

〈ワークショップ講師〉

西尾 美也 氏（美術家／奈良県立大学准教授）

砂連尾 理 氏（ダンサー・振付家／立教大学特任教授）